

# 会報



ふるさと農園（千葉市花見川区）猪俣正栄・画

支部長挨拶	
支部活動の充実が母校発展の貢献につながる	2
【特集】第一回 中央大学学員会 千葉県支部 白門会懇談会	
各地域白門会が連携し魅力ある活動を展開しよう	3
各地域白門会の活動	9
千葉県支部の活動	10
ゴルフ15周年記念大会コンペ	13
編集後記	16

支部長挨拶

# 支部活動の充実が 母校発展の貢献につながる

中央大学学員会 千葉県支部 支部長

吉田 卓



県内の中央大学・学員の皆さん相互の交流を図るための広報誌として、平成25年春に、千葉県支部の会報（第1号）を発刊しました。この創刊号には、当支部、そして中央大学最大の功労者である水島廣雄先生へのインタビュー記事「人は百歳まで元気でいられる」を掲載しました。

創刊号ではこのほか、学校法人中央大学・足立直樹理事長、中央大学・福原紀彦学長、中央大学学員会・久野修慈会長からの祝辞、碓井哲雄氏の「時代の変化に対応した選手獲得と指導が必要」箱根駅伝を振り返って」の講演録、そして千葉県支部会員の有志の寄稿を掲載しました。盛りだくさんの内容で、会員の皆さまからも高い評価をいただきました。そればかりでなく、他支部会報に比べても遜色なく、当支部の存在感を示すものとなりました。

この創刊号の巻頭に、私は支部長挨拶として「千葉県支部会報の発刊にあたり」かつての隆盛を取り戻そう」と呼びかけました。今回、第2号の発刊にあたってのメッセージも、基本的には同様の趣旨での呼びかけをいたします。

創刊第2号の特集としては、県内各地区で地域白門会の

活動を行っている皆さんによる懇談会を企画しました。これも、千葉県支部のかつての隆盛を取り戻す、支部活動活性化の一環です。

千葉県支部の活動は、言うまでもなく会員の皆さん、ことに地域各白門会の皆さんの協力がなければ成り立ちません。しかし、支部役員と地域白門会の役職者の皆さんの大半は別々に活動し、これまでは、地域白門会の意見交換や交流は極めて少なかったと思います。こうしたことも、支部活動停滞の一因ではなかったかと、私は感じました。そこで、各地域白門会との意見交換の場を定期的に開催し、連携をはかり、支部活動を大いに盛り上げていきたいと考えています。今号に掲載した座談会は、その第1回目のものであります。

会員の皆さんもご承知のように、ここ2、3年、中央大学や中央大学学員会ではさまざまな問題が生じました。これらについて私は、根本的な問題は相互のコミュニケーション不足にあると感じています。わが千葉県支部においても、そのようなことが生じないようにするためには、まず

は会の風通しを良くし、会を、そして中央大学を良くするために、相互に忌憚のない建設的な意見を交すことが大切だと思えます。

私は中央大学を卒業し、千葉県支部をはじめとした学員会のさまざまな集まりに参加したことで多くのものを得ました。そのことに大変感謝しています。学員会活動を行う多くの方も、同じように思っていることでしょう。そういう方々が仲良く親睦を深める場、つまり学員会支部が充実した活動を展開することができれば、自ずと母校の発展に貢献できるものと信じています。

そのような思いを込めて、千葉県支部会報第2号をお届けします。会員の皆様の本誌および支部活動へのご意見、ご要望をお待ちしています。



# 各地域白門会が連携し

# 魅力ある活動を展開しよう

## 第一回

## 中央大学学員会 千葉県支部 白門会懇談会



2014年2月16日、千葉市内の京葉銀行文化プラザにおいて、千葉県内の各地域で同窓会・学員会活動を行っている地域白門会の役員が一堂に会し、会活動の活性化について意見交換を行いました。本誌ではその模様を会員の皆様にお伝えするとともに、会活動へのご意見を広く募集します。

### 地域白門会の設立を支援しよう

**吉田** 本日はご出席ありがとうございます。今日は千葉県支部や分会の活動について、皆さんの意見を拝聴したく、各分会の皆さんにお集まりいただきました。一方的に総会や役員会をしても意思が通じず、またそれぞれのお考えも把握できていないことを常々感じていました。そこで、白門会に忌憚ない意見をいただきたいということでこの会となりました。

**関** いま支部長から「分会」というお言葉ができましたが、我々からすると「分会なんか冗談じゃない」と思っています（笑）。神奈川県は川崎、藤沢などが支部として独立

している。しかし千葉県の場合、かつては地域ごとの支部は認めないという感じもありました。そんな中、京葉白門会がなかば強引に設立したという経緯がありました。過去はともかく、地域の白門会が千葉県支部を育てるという気持ちでやらねばならないと思っています。千葉県支部は各地域の白門会づくりを積極的に支援し、ないところは作っていただくよう促していくべきでしょう。京葉エリアでの卒業生は、調べてみると6000名います。だから、京葉ももっと地域を細分化して白門会を作って活性化するのも必要ではないかと思っています。

**高橋** 流山も発足20年です。今日はお声がかかり急ぎよ参加しました。

**後地** 昨年11月に流山に白門会があると知りました。大森さんが野田白門会を作ったときに参考にしたのが流山と聞いてびっくりしたわけです。千葉県支部として情報が把握できていなかったようで、大変申し訳ないと思っています。このように地域ごとにさまざまな会がいろいろ活動しているわけですね。

### 支部名称を「白門会」にすべきか

**井戸** 中大には「自分自身を育てる」という気風があったと思います。千葉県には立派な卒業生がたくさんいます。なのに、どうして支部の会合に人が集まらないのかと思っています。いい仲間がたくさん作った方がいいが、

《出席者》

(順不同、敬称略)

千葉県支部	支部長	吉田 卓 (31年)
	幹事長	後地 俊男 (31年)
	副支部長	赤崎 照夫 (36年)
	交流委員長	並木 日呂忠 (42年)
	会報編集長	山口 義夫 (38年)
	事務局長	愛場 政幸 (51年)
野田白門会	会長	大森 清司 (35年)
	幹事長	仲長 孝 (50年)
京葉白門会	会長	関 正 (35年)
	幹事長	仁平 俊夫 (45年)
北総白門会	会長	山口 文明 (42年)
我孫子白門会	会長	井戸 茂美 (29年)
茂原・長生白門会	会長	杉木 禰夫 (35年)
流山白門会	幹事長	高橋 洋 (42年)

中大出身者はそれが下手なかもしれない。

後地 同窓のネットワークづくりですね。関さんは学会の副会長に就任しましたが、学会は「学員ネットワークの構築」が目的です。我々もこの本部の活動をフォローしないといけない。OB会の活動目的は、学員ネットワークの構築、これに尽きると思います。

関 まず、「学員会」という言葉。これは中大の卒業生ですら、特に若い世代にはわからない人もいます。学

員会支部」を「白門会」に名称変更することがオーケーになり、多くの県支部、大阪・兵庫などが名称を変えています。千葉県支部も、この名称の問題もご検討いただきたいと思っています。それと、同窓会の原点は親睦会です。「政治」というか、親睦以外の余計なことを持ち込まないことが大切だと、私は強く思います。

老人会にせず若い会員を増やすには

後地 支部や地域の白門会の大きなテーマの「どうしたら会員が増えるか」について、ご意見をうかがいましょう。

大森 往々にしてOB会は老人会になりがちです。野田

白門会は発足したばかりですが【9ページに別記】、いちばんの先輩は昭和19年、若い人は平成23年で、非常にいいバランスです。このバランスがないと、いずれ年配者だけになり、会が消滅します。なるべく年代を広げることが考



中央大学賛助員

昭和28年旧制経済学部卒

齋藤 彦伍

〒299-3251 大網白里市大網320  
TEL 0475-72-0364

昭和28年法学部卒

野村 淳

〒286-0032 成田市上町553  
TEL 0476-22-2149  
携帯 090-8010-3251

旭建設株式会社 顧問

昭和31年商学部卒

後地 俊男

〒260-8663 千葉市中央区市場町3番1号  
TEL 043-225-7156 / FAX 043-224-2330  
携帯 080-8434-7282

中央大学学員会副会長  
女性白門会特別顧問  
中央大学名誉評議員  
NPO法人日本モンゴル虹の会 理事長  
千葉経済大学 名誉教授

藤本 幹子 昭和32年経済学部卒

え、役員の階層も広げたいと考えています。また、老人会にしないためには学員会本部のデータベースを活用することも大切です。卒業生50万人のうち30万人分のデータがありますし、若い卒業生はそのデータベースに全員入っています。

**杉木** 茂原・長生白門会も20年程度の歴史がありますが、会員は高齢化しており、若い方の参加が少ない。毎回25名程度が集まる総会や新年会に1人でも多く集めたいので、その方法を考えたいと思っています。魅力あるイベントづくりとして、最近では、早稲田、明治、日大、中央の4大学で懇親コンペをやるうと、地元の4大学OBで年に2回ゴルフをしています。

**山口(文)** 早稲田、明治、慶応は現役の音楽団体やクラブをよく呼んでいますね。我々の地元佐倉でも呼ぶと満杯になるようです。中大に的確なクラブがあるか探すなど、イベントをやればという声も出ています。我々北総白門会も、歴史的には結構古い白門会なので会員は相当いますが、年1



回の総会で最近では20名出席が精一杯です。大学が八王子だからという声もありますが、卒業生のなかでも佐倉や四街道に戻る人も大勢います。私自身も中大卒の人の名前と顔は知っていても声かけができていないという反省もあります。声をかければ出てくれる人もいます。やはり積極的な声かけが必要ですね。

**魅力あるイベントが会員を集める**

**仁平** 京葉白門会は発足33年で、最初は300名以上の会員がいて、会場に入りきれずロビーまで人が溢れるようでした。ところが、今の参加者は常時30名程度です。名簿に名前がある会員に会って総会の案内をすると「ぜひ行く」と言ってくれますが、ハガキを送っても来てくれません。何かいい方法がないかお聞きしたい。

**高橋** 流山白門会の会員は約110名。発足当時は20〜25名の集まりでしたが、ここ7、8年は30〜40名が集まるようになっていています。毎月なんらかの活動をしていますし「10ページに別記」、プロ野球選手や著名な学員を広く招いて交流を図っています。いろんな絆ができていて、「絆づくりができてよかった」と参加者には言ってもらっています。若い人に声をかけたので会員6、7人の平成会(平成卒業)もあります。やはり課題は若手をいかに集めるかです。

**井戸** 同窓会の活動は、何周年だからいくら寄付しような

一般社団法人 商品流通適正化機構  
代表理事  
昭和33年法学部卒  
**安達 眞五**  
〒272-0015 市川市鬼高 2-21-2-109  
TEL 047-336-5816

昭和33年卒  
是空舎・学而館  
**柴田 泰三**  
銚子市前宿町  
TEL 0479-22-1192

村山法律事務所  
昭和35年法学部法律学科卒  
**村山 芳朗**  
自宅 〒264-0006 千葉市若葉区小倉台 7-16-4  
TEL 043-232-8282

株式会社ケイアンドエム  
代表取締役  
**前島 一夫** 昭和35年経済学部卒  
〒284-0023 四街道市みそら 4-11-4  
TEL 043-432-6032

どもいいが、相手をよく知って裸になってお付き合いする  
が必要。中央大学の同じ釜の飯を食ったという気持ちで  
お付き合いをしていきたいと思ってる。ただ、お付き合い  
いがだんだん増えるので適当にしないといけないという  
のも、正直なところですよ。

**仲長** 野田白門会では、継続するためにはあまり負担にな  
らない会にしたらよいと会長の大森さんと話しています。  
みなさん、地域などでいろいろな役をやっているでしょ  
うし、若い人に負担にならないよう仕事を振り分けていま  
す。野田は慶応の三田会、早稲田の稲門会が強いですが、「野  
田白門会に来れば面白い」ということを発信しながら、い  
ろいろと行事を考えたいと思います。

**後地** 流山は活発にやっているそうですね。人が集まるの  
は魅力があるから。集まらないのは魅力がないから。面白  
いイベントなら人は集まるということですね。

**愛場** 千葉県支部の総会を振り返ると、若い人は1回目は  
来るが、2回目、3回目は来ない。それは企画の問題かも  
しれません。行って面白い懇親会か、人が集まれる白門会  
かを考えねばなりませんね。

**並木** 最近会った八王子の先輩から「京葉と八王子とで交  
流しないか」という話があり、ゴルフならいいのではとい  
うことになりました。そんなふうに県外の白門会との交流  
も企画としては面白いと思います。

**愛場** ゴルフはいいですね。バラバラにやらずに年に1回、  
千葉県白門ゴルフ大会をやつてはどうでしょう。景品をそ

れぞれに持ち寄って。そして千葉県のオール白門で他県の  
白門との対抗戦とかも考えられますね。

(注) 千葉県支部では長年にわたり、年3回ゴルフコンペを定期的  
に開催。世話役(ゴルフ部会長)は流山白門会の飯谷氏が担当。

### コスト削減とイベント設営の工夫

**赤崎** 他大学の話が出ましたが、早稲田、明治のOB会は  
成田市内でも活発に活動しています。根本は資源、つまり  
お金の問題になるのではないのでしょうか。会員が集まらな  
いと会費はない。しかし、集めるための文書費、通信費な  
どの経費はかかります。各地域の白門会でも苦勞している  
と思います。昔のように、一部の人が過度な負担をするこ  
とはもうありませんから。どう稼ぐかも検討テーマになる  
のではないですか。お金の問題の議論は避けられない。

**後地** 時代が変わって、大会社の社長だから同窓会にポン  
とお金を出す、とい  
うこともいまはあり  
ませんし、そういう  
ことはできない。

だから、野田白門  
会のように「小さく  
活動して大きく育て  
る」という考えが必  
要なのかもしれませ  
ん。明治大学は社会



鳥切法律事務所

弁護士

**鳥切 春雄** 昭和 35 年法学部卒

〒263-0012 千葉市稲毛区萩台町 664-3  
TEL 043-256-0161 / FAX 043-256-4486

ノザキ建工株式会社  
取締役会長

**野崎 卓次** 昭和 35 年卒

〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港 223-3  
TEL 043-243-0185

昭和 38 年商学部卒

税理士

**山口 義夫**

〒284-0024 四街道市旭ヶ丘 5-16-24  
TEL / FAX 043-432-0130  
Email yv6i9z@bma.biglobe.ne.jp

荒税理士事務所 (TKC 全国会会員)

税理士 **荒 孝一**

土地建物の税務対策・土地の有効活用のアドバイザー  
提携企業：税理士法人Taxジャパン・積水ハウス(株)・大和ハウス工業(株)ほか  
mail : bonjour@kk.ii4u.or.jp TEL : 090-3238-6760 (留守録可)

人学校を成田に開いていますね。もう10年以上になります。一クラス50名で、半年で卒業証書を渡す。成田の「卒業生」たちはえらく感激して「明治を出たのよ」と話がはずむようです。また、スウィングクラブを呼んできて3000人も集めています。チケット1枚1500円なら450万円が入ります。それが明治OB会の資金が大学の寄付かはわからないが、そういうことも大いに参考になるかもしれません。

**大森** 会の運営にはお金がいりますが、野田白門会ではさまざまな工夫をしています。発送宛名は学員会でデータベースをプリントしてもらい、そのまま封筒に貼っています。返事はFAXにしたので相手負担。通常の役員間の連絡はメールです。

まずは、通信費を極力節約することを考えました。メールやラインなど若者たちが使うもので通信費を安くすることが第一。懇親会の会場も、中小企業団体には給食センターがあり、割烹料理も運営しています。そこなら6〜7割くらいで割安にできる。7000円会



費で3500円くらいの料理を出し、浮いた分を通信費やイベント費に使う。飲食業をやっている方がいると思うのでそういうことをしてはどうか。また、講演などは大学の先生にお願いし、その依頼をするときには千葉県支部に出張してもらおう。支部から学員会本部に頼み、大学に頼む。一般の講演では10万円だが大学ルートなら3万円で済むことがある。これが、支部地域白門会への支援になります。**愛場** 一つひとつが参考になるので採用したいことばかりです。データベースは当支部でも5年前から管理しています。ただ、2400名中メールアドレス獲得者は100名に満たない現状です。最新ツールとして、フェイスブックもツイッターも千葉県支部として採用しています。これらをもっと活用するようにしていきたいと思います。

### 総会は地域持ち回り・県内各所で

**愛場** 幕張で千葉県稲門会があり、200名以上集まったという話を聞きました。千葉県支部の総会もそのぐらい集めたいと思います。

**赤崎** 支部がいくらがんばっても館山、流山、銚子などが集まりへ入ってこれない状況はありませんか。

**関** 私たち松戸や我孫子と同じです。千葉の地形は集まるのが難しく、千葉県支部も会台等で千葉市にこだわると、千葉市周辺だけの会になりかねないと思います。

**山口(義)** これまでは絶えず千葉で総会をやっていたが、

社会福祉法人 志津大山記念会 理事長

**並木 日呂忠** 昭和42年商学部卒

〒285-0846 佐倉市上志津1109番地1  
TEL 043-464-0777 / FAX 043-464-0888  
Email h-namiki@ooyamakk.or.jp  
ホームページ http://www.ooyamakk.or.jp

学校法人市川学園 (市川中学校・高等学校)

昭和42年法学部卒  
**中田 真人**

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-32-6  
TEL / FAX 043-292-4106  
Email k08281961@yahoo.co.jp

佐倉市議会 議長

**山口 文明** 昭和42年理工学部卒

〒285-0005 佐倉市宮前1-15-10  
TEL 043-485-1161 / FAX 043-486-1000  
事務所：〒285-0014 佐倉市栄町19-5-202  
Email bunmeisan@yahoo.co.jp

芦村消防研究所 代表

昭和45年経済学部卒  
**芦村 敏徳**

〒264-0002 千葉市若葉区千城台東4-28-14  
TEL / FAX 043-236-1859  
Email qkftw462@YBB.ne.jp

## 平成 26 年度定期総会・学術講演会(無料)のご案内

- I 日 時 平成 26 年 6 月 14 日 (土)  
16:00 ~ 20:00
- II 場 所 三井ガーデンホテル千葉  
千葉市中央区 1-11-1  
☎ 043-224-1212
- III スケジュール
- 1 受 付 15:30 ~
- 2 講 演 会 16:00 ~ 17:00 4階 天平の間  
《講演テーマ》  
「21 世紀の健康づくり ~ 笑いの効用 ~」  
講 師 市来 真彦 (M.D. Ph.D.)  
東京医科大学 精神医学講座准教授 茨城医療センター精神科長
- 3 総 会 17:30 ~ 17:50 4階 天平の間
- 4 懇 親 会 18:00 ~ 20:00 4階 白鳳の間

お問い合わせ先  
中央大学学会千葉県支部事務局  
愛場 090-1102-4326

千葉県支部主催 特別企画

### スカイツリーから夕景を観る会 (仮称)

8 月 2 日 (土)

詳細は確定次第お知らせします。

有限会社ミリオントラスト  
代表取締役

原口 真彩子

〒264-0015 千葉市若葉区大宮台 2-14-11  
TEL 043-209-2330 FAX 043-209-2331

昭和 51 年経済学部卒

愛場 政幸

〒262-0047 千葉市花見川区長作台 1-6-1  
TEL 043-259-1744

船橋市議会議員

平成 3 年卒  
中村 実

〒273-0031 船橋市西船 3-8-28  
TEL 047-433-4047

昭和 24 年法学部卒

足立 宣夫

〒267-0026 茂原市茂原 519  
TEL 0475-24-1185 FAX 0475-25-2970

野田、流山、成田、西船橋とか、そちらの方が主催して本部と協力するというのはどうですか。私たち税理士の団体は全国統一の総会を北海道や仙台、広島と持ち回りでやっています。自分の地域がみんな大事ですし、他地域の方を地元と呼ばば張り切ります。

愛場 千葉県内の白門の共通イベントを年 1 回、千葉県全体の白門会で持ち回りでやれば、会員もいろいろいるところに行けますね。

並木 総会ではなかったけれど、千葉県支部の企画で以前、

阿部先生にオウム真理教の講演をしていただいたとき、とてもたくさん集まりましたね。場所は鴨川でした。そういう企画がいいですね。

大森 例えば、流山と野田が合同でやるのは可能です。キッチンマンの宮内庁御用蔵を見学してから総会をやるとか、地元ならではの企画もできますね。

後地 いろいろご意見をいただきましたありがとうございます。この会は継続的に開催し、支部活動の活性化につなげていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

# 各地域白門会の活動

事務局に届けられた活動報告文のほか、座談会での活動報告の要旨を編集した。

## 小さく生んで、大きく育てる 野田白門会の設立

### 野田白門会

野田市は千葉県でも最北端にある。市の北部は旧関宿藩の城下町、中央部は醤油醸造の町で、行政・商業の中心である。南部は戦後に造成された工業団地や東京理科大学キャンパス、東部には名門ゴルフコースやこうのとりが生息する田園地帯が広がる。枝豆の生産量は日本でも一、二番目である。江戸時代からの伝統文化が残り、教育・芸術・スポーツにも熱心な町である。江戸川と利根川に挟まれた地域を「東武アーバンパークライン」が走る。都心までは、いまは1時間くらいで行けるが、千葉市までは2時間以上かかる。県支部の会議などは千葉市で開催されることが多いので、野田市在住の者にとっては、その参加が時間的、距離的にいってなかなか難しい。

県北部地区でも、隣接する流山市ではすでに20年以上前から、流山白門会があり、活発な活動をしている。この会には野田市在住者も幾人か参加してきた。また、我孫子市にも我孫子白門会がある。そこで、かねてから野田地方に在住または勤務する中大卒業生で、白門会を結

成してはどうかとの声があった。中大の卒業生はいまや全国で50万人を超え、多摩キャンパス卒業生が多くなっている。ので、できるだけ年度の若い人々にも参加してもらうことが望ましい。

このような次第で、平成25年初めころから、有志が集って具体的な構想を立ててきた。まず6月に13名で発起人会を開催し、その後主要メンバーらによって準備会を4回ほど開催した。一挙に多くの同窓生を集めるより、「小さく生んで、大きく育てる」という方針をとることとした。このため千葉県支部の分会として設立することがベターであると考えた。それが中大卒の地域でのつながりを深め、千葉県支部の発展にもなるからである。

準備会において会則案や、主な事業案、役員人事案なども検討した。会則はなるべく簡便なものにして、事業も当面あまり欲張らないこととした。「またか」という会でなく、開催が「待たれる」会にしたいと考えた。そして今後の継続を期して、役員も年次が偏らないように、広い年代層から選ぶこととした。下手をすると同窓会は老人会になりかねないからである。中大卒業生の把握については、千葉県支部の了解を得て、駿河台の学員会本部に協力してもらうこととなった。

平成25年夏に学員会本部より野田市在住者名簿をいただいたところ、なんと410名を超える中大OB・OGがいることが判明した。人口15万人の市としては、予想したより多くの卒業生がいることに驚いた。ただし、こ

## 中央大学野田白門会

会長 大森 清司 昭和35年法卒  
幹事長 仲長 孝 昭和50年経卒  
事務局長 逆井 一夫 昭和56年法卒

白門会事務所

〒278-0036 野田市中野台鹿島町37

株式会社 ナカオサ 内

TEL. 04-7125-3101 FAX. 04-7125-2952

携帯 090-3201-5360

e-mail:tn3@nakaosa.com

中央資材株式会社

代表取締役社長 土屋 武次

〒260-0822 千葉市中央区蘇我4丁目13-16

TEL 043-266-1481 (代)

FAX 043-266-1484 (代)

昭和34年卒

庄司 一彦

〒264-0006 千葉市若葉区小倉台7-23-1

TEL・FAX 043-232-8465

の名簿で把握して

いる住所氏名は完

全なものではな

く、住所変更者や

物故者も含まれて

いた。できる限り

現状に近い人々を

絞って、10月初旬

に設立総会の案内

を発送した。回答

は葉書、メール、

FAXなどでお願

いした。その結果、140名以上の方から回答があり、

参加者は53名ということになった。参加者の中で、一番

の先輩が昭和19年卒、若手が平成23年卒であった。この

たぐいの呼びかけとしては、かなり高い反応であり、それ

だけに野田白門会の結成が待望されていたことになる。

11月16日、吉田卓千葉支部長や隣の流山白門会長ら

にもご出席をいただき、市内で野田白門会の設立総会を

開催した。設立準備会会長からこれまでの経過説明、会

則の審議、事業予定、役員選出があり、すべてスムーズ

に決定された。会長には大森（昭和35年卒）、副会長に鈴

木（39年）、監事に岩井（35年）、幹事長に仲長（50年）、

事務局長に逆井（56年）が選出された。副幹事長は3名

で、うち2名は平成卒が起用された。会議終了後に弦楽

器演奏があり、懇親会となった。初めに自己紹介を行い、

その後和やかな懇親の集いとなった。これまで市内で知

り合いであつても、互いに中大卒であるとは知らず、今



回「やあ、君も中大だったの」という邂逅があつた。

なお、野田市役所やキックコーマンなどにも職域白門会

があるので、将来これらの会との連携も考えていきたい。

長い年代にわたる卒業生の会は「立ち上げ」もさること

ながら、むしろ「継続」が重要である。今後、野田白

門会は地域に住む会員相互の懇親を深めつつ、母校に

よって「つながる世代」の参加を呼び掛けていきたい。

【会長・大森清司】

### 著名学員の講演など

### さまざまな企画で参加者も増加

### 流山白門会

流山白門会は発足して今年で20年。会員は約110名

で、発足当時の会合は20〜25名集まっていたが、ここ7、

8年は30〜40名が集まるようになった。活動は、新年会、

春の運河での花見会、暑氣払い、忘年会と定期的に年4

回。その他、ゴルフ会、山登り会、筑波山に登る会、秘

湯を訪ねる旅と、毎月なんらかの動きはしている。

前年の総会では同期の柳家小団治にお祝いの落語をお願

いした。過去にも、元プロ野球選手で中大野球部監督も

務めた高橋善正氏や作家の門田隆将氏ら学員に講演を依

頼している。去年の暮れにはヤクルト小川淳司監督、高

橋善正氏、門田隆将氏を招くとともに、流山白門会以外

に42会、横浜や藤沢の白門会会長、報知新聞専務、産経

## 千葉県支部の活動

平成25年度の事業報告について

I 基幹事業

1 平成25年6月15日

i 定期総会 三井ガーデンホテル千葉にて開催

ii 学術講演会 講師 中央大学 松丸和夫常任理事

iii 懇親会 出席者 80名

2 平成25年9月24日 役員会議

きぼーるにて 出席者 26名

3 平成25年12月7日 忘年会

ホテルプラザ菜の花にて 出席者 65名

4 平成26年2月7日 新年会

ラ・セーヌフランシュにて 出席者 65名

5 平成26年3月15日 平成25年常任幹事会

三井ガーデンホテル千葉にて 出席者 20名

6 会報（創刊号）発行 平成25年4月30日発行

3000部作成、5月上旬 会員各自門会に送付

II 編集会議&事務局会議

7月13日、7月20日、7月23日、9月7日、9月24日、

10月27日、11月12日、1月23日、12月1日、12月20日、

1月18日、3月12日、4月20日

III 他支部との交流および中央大学スポーツ活動応援

平成25年

6月10日 京葉白門会総会 幹事長、事務局長

6月25日 茂原長生白門会総会 支部長、幹事長

7月20日 父母連絡会総会 前島副支部長、事務局長

7月24日 市役所白門会 支部長、幹事長

7月27日 大網白里白門会 支部長

新聞論説委員など多くの学員を招いて交流を図った。

当会は若い人に声をかけ、会員6、7人の平成会（平成卒業）もある。30代女性税理士が積極的に参加したり、通信教育で司法試験に通った30代半ばの男性が入ったりと、新メンバーも増えているが、課題はやはり若手にいかに広めるかである。いろんな絆ができていて、「絆作りができてよかった」と参加者には言ってもらっている。これからもそんな声に応える活動をしていきたい。

【幹事長・高橋洋（談）】



## 恒例の箱根駅伝講演会が 高い評価を受ける

### 京葉白門会

京葉白門会の設立は30年以上前にさかのぼる。初代会長は秋本庄治氏。設立総会は200名を超える参加者を

迎えた。以来、継続的に活動を続け、近年こそ参加者は少なくなったものの、少なくとも年2回の会合を開催している。確井哲雄氏をお迎えする箱根駅伝の直前の講演会は高い評価をいただいている。体育会出身者が多いのも特徴で、オリンピック出場者も2名、役員となっている。

昨年度の主な行事は、総会・講演会／中央大学準硬式野球部OB会長・野々下純正氏講演・懇親会（7月6日）、準硬式野球部全国大会の応援（8月）、箱根駅伝講演会／確井氏・忘年会（12月14日）。

【会長・関止】

## 会費納入は必須とせずも 納入率60%を達成

### 我孫子白門会

我孫子白門会の平成25年12月末現在の会員数は88名である。これは、我孫子会の運営趣旨に反応された学員数であり、このうち会費納入者は53名で、全体の60%となっている。

当会は大学学員会同様に、会趣旨に賛同される方々を会員としており、会費納入を必須とはしていない。前年度までの実績は40名台で資金的に厳しかったが、今期から弔慰規則の新設が可能となった。今後も緩やかな納入依頼をすすめていく。

【新年会打ち合わせ（1月12日）メモより】

平成26年	内容	出席者
9月29日	関東大学女子駅伝応援	支部長他役員8名
10月12日	江戸川区支部総会	支部長
10月12日	我孫子白門会	事務局長
10月14日	北総白門会総会	幹事長
11月6日	野田白門会設立総会	支部長
11月17日	墨田区支部総会	支部長、幹事長
11月21日	箱根駅伝を強くする会	支部長
11月23日	習志野白門会総会	幹事長、事務局長
12月14日	京葉白門会忘年会	幹事長
1月2、3日	箱根駅伝応援	支部長他数名
2月7日	港白門会10周年	ご祝儀のみ
2月8日	墨田区支部新年会	支部長
2月16日	千葉県内白門合同会議	
2月27日	千葉県支部他6白門会会長・幹事長計13名出席 茂原長生白門会新年会 支部長、事務局長	
	ほか硬式野球・準硬式野球試合の応援	

#### 第3号議案

平成25年度の事業計画について

1 定期総会・講演会・懇親会

場所 三井ガーデンホテル千葉 平安の間

i 総会 6月15日（土曜日）16時～16時20分

ii 講演会 16時30分～18時

講師 松丸和夫 中央大学常任理事・経済学部教授

講演テーマ「中小企業とディーセントワーク」

働きがいのある人間らしい仕事を求めて

iii 懇親会 18時～20時

2 ホームカミングバスツアー10月27日（日）

3 忘年会

4 新年会

5 支部主催ゴルフコンペ 学員会他支部および関係団体との交流

6 女子駅伝の応援

7 箱根駅伝応援

# 歴史ある白門会

## 会員増強を着実に努力

### 北総白門会

北総地区は成田、佐倉、四街道、印西市、印旛郡、八街、富里、栄町が入っている。北総台地の印旛郡とご理解いただきたい。歴史的には結構古い白門会で、会員は相当いるが、年1回の総会で最近では20名出席が精一杯。卒業生のなかでも佐倉や四街道に戻る人もいるので探せばかなりの卒業生がいると思う。着実に会員を増やすよう努力をしているところである。

【会長・山口文明（談）】

## 年2回の定例会で年会費を賄い、地域社会の交流を図る

### 茂原・長生白門会

20年程度の歴史がある茂原・長生白門会では、地域社会の交流を図ろうと集まっている。名簿上の会員は約120名。毎年、月遅れの新年会をやり、総会は5月頃に行っている。年に2回の会合を定期的に行い、この参加費7000円程度で会費をやりくりし、年会費はとっていない。

親睦は、早稲田、明治、日大、中央の4大学で懇親コンペを年に2回している。また、ゴルフは別に年に1、2回行っている。会員の集まりは高齢化しており若い方が少なく、会合には25名程度が集まっている。支総会や新年会に1人でも多く集めたいのでその方法を考えたい。

【会長・杉本禎夫（談）】

## 会員減少傾向の打開に

### 近隣市町にも勧誘を拡大

### 大網白里市白門会

当大網白里市白門会は昭和44年卒業の石橋捷洋氏が、当時の町長選挙に出馬するときに発足し、以来27年が経過した。当時40数名の会員がおり、年2回（総会、納涼会）の会合には20名近くの参加があったようだが、ここ数年は会員の逝去、体調不良等で、近隣の千葉や四街道市からの参加を得ても半数程度。新たに会員を探すことも非常に困難になっています。近隣の東金市、九十九里町在住の学員を探そうとも思っています。

今回、地区分会活動についての意見交換等の場を企画されたことは時宜を得たことと存じております。

【会長・中村敏信】

全国有名書店・Amazonで販売中

## 春秋高く、しなやかに

シルバー・ボーイズ、ビー・アンビシャス！



人生に定年はない  
しなやかに、いきいきと  
オマケの人生に、幸あれ！

大森清司（昭和35年法卒）著  
四六判 268 ページ 1,000 円（税別）

書籍のお求めは  
全国有名書店・Amazon、  
または諏訪書房までお問合せください

諏訪書房

発行所 株式会社ノラ・コミュニケーションズ  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-6  
tel 03 (3204) 9401 fax 03 (3204) 9402

## 中央大学流山白門会

会 長

伊藤 祐介 昭和31年法卒

幹 事 長

高橋 洋 昭和42年法卒

白門会事務所（高橋 洋）

〒270-0101 流山市東深井 341-14

## 幅広い部署の情報交換 総勢83名、女性会員も増える

### 千葉市役所白門会

千葉市役所白門会は、市職員で構成し、現在83人の会員がいる。40年以上の歴史を持ち、毎年、退職されたOBや千葉県支部の皆さま等の来賓の方をお迎えして、総会にあわせて懇親会を行っている。会員数はピーク時の130名から減ってきているが、近年では女性会員も増え、華やかさもでてきた。

職員は、普段は仕事上の関係部署間でしか接する機会がないが、こうした懇親会等があることで、幅広い部署の職員と知り合え、情報交換などができるので、仕事をする上で多に役立つている。これからも千葉市役所白門会を大切に盛り上げていきたいと考えている。

【会長・高橋澄夫】



## ゴルフ15周年記念大会コンペ

### 高齢者、意気軒昂なり

▽平成25年7月12日

▽ヌーヴェルゴルフ倶楽部

梅雨があけて猛暑日が続くなか、7月12日（金）、ヌーヴェルゴルフ倶楽部において第28回ゴルフコンペが開催された。今回は学員会千葉県支部ゴルフ部会発足15周年目にあたる記念大会である。当日は気温35度の酷暑のため、欠席者が相ついで13名の参加にとどまった。

最盛期はゴルフ会員70名を数え、コンペ参加者は常時25名ぐらいいであったが、近年は会員の高齢化と長引く不況の影響で現役世代の参加者が少なく、20名に満たない状況が続いている。

今大会で特筆すべきは、昭和8年生まれの80歳が3名参加したこと。そのうち後地俊男幹事長が優勝し、あと2名の赤崎照夫君と中村はリタイアすることなくラウンドを全うした。

ベスグロには76歳の刈谷博幸ゴルフ部会長が獲得し、高齢者未だ健在なりと意気を示した。

ここ数年、若い現役世代の参加者が少なくて危惧していたが、昨年から50代の阿部義文君、下山保君が参加するようになり、下山君は準優勝、阿部君は5位と健闘し、会を



大いに盛り上げてくれ活気が満ちてきた。これを糧として現役世代を掘り起こし、活気を取り戻したい。

参加者は少人数とはいえ、いつもながら皆元氣いっぱい賑々しく和氣藹々のうちに終わった。

最後に、11月に青梅カンツリークラブで開催する予定の学員会ゴルフ大会への積極的参加を呼びかけて、楽しい会の幕は閉じた。

【中村芳男】

安心と安全で社会に奉仕する

# 株式会社三住工業

代表取締役 赤崎照夫

〒286-0011 千葉県成田市玉造6丁目2-1  
TEL 0476-28-4656 FAX 0476-26-2360

省力化設備システム実現と  
発電・省電力化システムで未来社会を拓く



## 東洋ケミカル機工のコアコンピタンス

- 危険物施設の  
設計・製作・改造・更新・土壌調査浄化槽  
地下タンク FRP ライニング施工
- LED照明レンタル事業  
(導入費用“0”円で電気代を大幅カット)
- 地下・移動タンク漏洩検査及其他非破壊検査  
(東京都・茨城県・千葉県石油組合指定)  
NTT施設・三井化学施設・防衛省及(地方自治体)点検・施工
- ソーラー発電トータル支援事業  
(10キロW～メガWまで  
売電事業化のお手伝い)

## 東洋ケミカル機工株式会社

代表取締役 佐々木 勝彦

■本社 〒106-0032 東京都港区六本木3丁目18-12号 TEL03-3583-6305 FAX03-3583-0808  
E-mail : honsya@toyochemical.com ■事業所：関東 ■営業所：千葉・水戸

# 真田綜合法律事務所

弁護士 真田 範行

弁護士 鶴見 泰

弁護士 牧野 宏信

弁護士 永治 衣理

弁護士 飯田 祐介

弁護士 北原 賢一

客員弁護士 鈴木 庸夫

〒 260-0013 千葉市中央区3丁目 10 番 6 号北野京葉ビル 8 階

電話 043-221-1171 FAX 043-221-1172

## 地元の 不動産 専門業者!!

あなたと すてきな かぞくのために

あ す か  
(株) 明日香ホーム

代表取締役 吉田 明 (昭和 40 年 経済学部卒)

千葉県知事免許 (10) 第5278号

千葉市稲毛区小仲台2-13-1 村田ビル 1 F

<http://www.asuka-h.com>

☎ 043-256-5661 FAX 043-256-6446

マンスリーマンション

JR総武線の各駅の近く。  
中央区・美浜区・稲毛区・花見川区・他

ミスタービジネスのマンスリーマンションは  
出張者、建て替え・リフォームの仮住まい、  
受験生、長期旅行者などにお勧めします。

ミスタービジネス



マンスリーマンション

## 編集後記

中央大学千葉県支部の会報（平成25年・第1号）は皆様から好意的な感想を頂き、役員一同、発刊に協力を頂いた皆様に感謝いたしております。

創刊号では中央大学の足立直樹理事長、福原紀彦総長・学長、久野修慈学員会会長の祝辞を頂き、水島廣雄先生インタビュー、碓井哲雄講演録のほか支部会員の寄稿を掲載しました。

第2号では、千葉県内の各地域白門会の第1回役員懇談会として野田白門会の大森清司会長、仲長孝幹幹事長、京葉白門会の関正会長、仁平俊夫幹事長、北総白門会の山口文明会長、我孫子白門会の井戸茂美会長、茂原・長生白門会の杉本禧夫会長、流山白門会高橋洋幹事長による各地域の現状と具体的な活動内容の紹介があり、今回も諏訪書房の協力を得てその概要を掲載しました。

今後の千葉県支部の魅力ある活動を展開するためのヒントの一端が得られたものと思いますが、時間の制約で論議不十分なところがあり、さらには次回での深度ある話し合いを期待しております。

この会報が千葉県支部の会員相互の親睦に幾分か貢献ができればと存じます。ありがとうございます。ごさいました。

（編集長 山口義夫）

### 中央大学学員会千葉県支部会報 第2号

発行日 2014年4月30日  
編集人 中央大学学員会千葉県支部会報編集委員会 山口義夫  
発行人 中央大学学員会千葉県支部 支部長 吉田 卓  
発行所 中央大学学員会千葉県支部事務局  
〒262-0047 千葉市花見川区長作台1-6-1 有限会社シンセイ内  
制作協力 諏訪書房（株式会社ノラ・コミュニケーションズ）

東京都知事免許（12）第22574

アパート・マンション／土地・建物／管理 仲介 売買

## 共同物産株式会社

〒114-0015 東京都北区中里 2-1-10 TEL 03-3915-5300

千葉県知事免許（7）第011788

## 共同土地開発株式会社

〒263-0032 千葉市稲毛区稲毛台町 27-8 TEL 043-244-1123

昭和31年法学部卒

## 吉田 卓

TEL 043-243-5349